

## 国際会議から 持続可能なインフラストラクチャに関する国際会議

近年、各分野においてキーワードの1つとなっている“Sustainable”。本会議は、Sustainable Infrastructure (持続可能なインフラ) をターゲットにした国際会議です。第1回目の会議であった2014年は副題として“Creating Infrastructure for a Sustainable World (持続可能な世界のためのインフラの創造)”，第2回目となった今回の会議では“Sustainable Cities for an Uncertain World (不確定な世界における持続可能な都市)”を掲げ、施策的、経済的な研究から教育に関するもの、災害に関するもの、施工に関する研究など、多岐にわたる内容が発表されました。プレナリーセッションでは、その意義、価値についての議論や、2012年にアメリカを襲ったハリケーン：Sandyを題材にインフラのあり方が議論されていました。多角的な視野で、インフラについて考えることができた非常に良い機会となりました。

筆者の論文は、新しい盛土の耐震、耐降雨対策についての論



プレナリーセッションの様子



会場周辺のブルックリンの街並み

文でした。アメリカでも路盤などに用いられているセル構造の補強材による盛土のり面工を応用した工法ですが、同様な適用

が行われていないことから、構造や適用性、補強メカニズムに関して興味を示され、議論を交わすことができました。

会場のあるブルックリンはマンハッタンから比較的近く、会議が行われたホテルも有名なブルックリン橋を渡ってすぐの所でした。ニューヨークは中心部であるマンハッタンと各地域が数か所の橋でつながり成り立っていることから、これらのメンテナンスなども Sustainable Infrastructure という点で非常に重要な課題であると考えられているようです。



小島謙一  
鉄道地震工学研究センター  
地震動力学研究室  
室長

正式名称：International Conference on Sustainable Infrastructure  
 開催国：アメリカ合衆国(ニューヨーク州ブルックリン)  
 期間：2017/10/26-28  
 主催：ASCE (American Society of Civil Engineers)  
 開催頻度：3年に1回  
 次回開催予定：2020年(開催都市未定)  
 ホームページURL：http://www.icsiconference.org/